

こんな人を求めています!

「国民を守る」、「社会の治安を守る」 という正義感・使命感を持った人材

- ・ルールを守ることの大切さを理解して行動できる人
- ・受刑者を更生させることが社会のためになると考えられる人
- ・仕事にやりがいを見つけ、困難を乗り越えようと頑張れる人
- ・犯罪被害者の置かれた状況や心情に思いを致し、社会正義の実現に努めようとする人

立ち直ろうと頑張っている人を励まし、 支えてあげられる人材

- ・「人は変わることができる」と信じて疑わない人
- ・立ち直ろうとしている人を、思いやりを持って支えられる人
- ・立ち直りのための新たな取組にも挑戦する行動力のある人

組織人として行動し、 より良い社会作りに向けて努力する人材

- ・職場の仲間と協調して仕事に取り組める人
- ・自分の長所を仕事で発揮しようという意欲のある人
- ・真剣に問題に向き合い、解決を目指すことのできる人
- ・刑務所の中だけでなく、地域社会への貢献・連携が大切だと思える人

給与等

刑務官は公安職として一般の公務員より約12%高い給与水準となります。基本給以外に各種手当が支給されます。
制服：貸与
宿舎：勤務地に近く原則無料

勤務地

勤務地は希望を考慮して決定しており、原則として採用庁を所管する矯正管区の管轄区域内で異動します。

刑務官のことを
もっと知りたい方へ



矯正職員
採用広報
ホームページ

採用試験について
知りたい方へ



刑務官
採用試験
ホームページ

刑務官体験プログラム・
業務説明会について
知りたい方へ



刑務官体験プログラム・
業務説明会情報
ホームページ

刑務官

縁の下の力持ち
な仕事です。

刑務官になろう!



“縁の下の力持ち”な仕事です。

社会を守るために
なくてはならない存在

人と向き合い更生に導く
重要な使命を負っている

プロフェッショナルとして
自己の成長を実感できる

刑務官ってどんな仕事？

刑務所・拘留所など刑事施設の規律・秩序を維持し、被収容者の更生を導くため、生活全般に関わる仕事です。罪を犯した人に責任を自覚させるだけでなく、健全な社会人として暮らすための知識や生活態度等を身に付けさせます。また、拘禁刑下においては、例えば、高齢であることや障害があることなど、個々の事情を踏まえて、それぞれの改善更生に必要な作業や指導を行うことが求められています。出所後の再犯を防止し、新たな被害者を生み出さないことにより安心・安全な社会の実現を目指します。

刑務官のやりがいとは？

人に関わる仕事を通じて、人が変わっていく姿を実感できることが大きなやりがいと言えます。それぞれの事情を踏まえ、一人の人間として被収容者に向き合う仕事は、実際、多くの困難も伴います。時には失敗を重ねながらも、先輩職員から助言・指導を受け、経験を重ねることで、周囲から信頼され、組織を支えるプロフェッショナルへと成長できます。苦楽を共にし、切磋琢磨しあう仲間の絆は強く、困難を乗り越える勇気が湧きます。



規律・秩序の維持

逃走等を防止し、被収容者を適切に処遇するためには、刑事施設内の規律・秩序の維持が必要です。そのため、刑務官には基本的に忠実な勤務姿勢が求められ、勤務には緊張感が伴い、毅然とした態度を示す場面もあります。



矯正処遇

作業や改善指導等といった矯正処遇を通じて、受刑者に社会生活に必要な生活習慣や職業的な技能等を身に付けさせる必要があります。刑務官は、厳しさの中にも優しさをもって接し、健全な社会人としての模範を示すことで、その更生を支えます。



多職種連携

刑事施設には、刑務官のほかにも、作業、教育、心理、社会福祉、医療など様々な専門職が働いています。他の職種の職員と連携し、それぞれの専門性を活かしながら、一人一人の受刑者に向き合うことで、個々の能力やニーズに応じた働き掛け等を組織的にを行っています。職種を超えて職員が協力し合い、施設全体として被収容者処遇に対応しているため、不安なことはありません。

先輩の声

指導したことのうち、何か一つでも思い浮かべて、再犯を思いとどまることがあればいいと思いますし、それができる仕事です。

勤続 8年 / 男性 30代

顔つきであったり、指導に対する受け答えであったり変わっていく様子を見られるのは、この仕事のやりがいだと思います。

勤続 8年 / 男性 30代

相手によって伝え方を工夫すればうまくいくことが分かり始め、最近は指導を素直に聞くようになってきており、自身の成長を感じます。

勤続 4年 / 女性 20代

相談に乗ってくれて、支えてくれる先輩職員がたくさんいます。自分が先輩職員からしてもらったことを、今度は自分がやって、後輩を支えたいです。

勤続 6年 / 女性 30代

ここまで密接に人に関われる仕事はないので、私は刑務官になって良かったですし、誇りに思っていて、一度も辞めようと思ったことはありません。

勤続 26年 / 男性 40代

Career Plan...

01 みんなで研修

3か月間の初等科研修（集合研修）で基本を学びます。研修同期は、それぞれの道を歩んだ後もかけがえのない生涯の仲間となります。



研修所講義



集団行動訓練

02 現場で実践力を磨く

夜勤班に所属し、4日ごとに夜間の居室棟の巡回勤務を行います。昼間は被収容者の連行や運動の立会いから、徐々に工場や居室棟での勤務など、被収容者との関与度の高い仕事に就き、実践力を磨きます。また、武道訓練や護身術訓練に参加し、心身を鍛えます。



巡回勤務



武道訓練

03 多彩なプロフェッショナルとなる

刑事施設の仕事は多岐にわたり、各人の希望や資質・能力に応じて、様々な業務のプロフェッショナルとなることができます。

- 工場や居室棟の担当職員など被収容者の処遇全般の仕事
- 作業の企画、改善指導の実施、出所後の帰住先や就労等の調整の仕事
- 刑事施設の運営を支える事務系（庶務課・会計課・用度課）の仕事

など



就労支援



総務部勤務

04 こんなキャリアアップも可能！

- 選抜試験を受け、研修を修了することにより、刑務所長への昇進を目指す道も。
- 法務本省（大臣官房、矯正局など）や、矯正管区、少年施設等での勤務
- 在外公館（大使館・領事館）での勤務や留学（海外・国内）
- 准看護師養成所に入所し、刑務官として勤務しつつ准看護師の資格を取得



女性幹部職員

准看護師養成研修